

①追分石

追分石は、昔の人の道しるべです。弘前市内に5基あり、十腰内の追分石には、**石あしつ**(鱒沢) 佐山道と記されています。

となりにある古い松は根本が少し高くなっています。この松の木も昔の人の道しるべになっていたそうです。この古い松の木があるもりあけられた土の山は一里塚と言われています。



追分石

西浜街道

西浜街道は弘前城から高杉鬼沢、大森十腰内、鱒沢、深浦町大間越までの約10kmを指します。天正19年(1591)弘前藩初代藩主津軽為信が豊臣秀吉に鷹を献上した際に通行したことで知られています。2代藩主津軽信枚なども江戸への参勤交代の際に通行しました。



西浜街道(東通津々野町)

裾野地区文化財マップ

裾野小学校5年

②十腰内の遺跡

昭和35年(1960年)の発掘調査により、お祭りに**関係がある**と考えられる「**配石遺構**」が確認されました。他にも、縄文時代後期(4000年~3000年)の土器が大量に出土しました。**1)シシ形土製品(国重要文化財)**も出土しました。平成11~14(1990~2004)年の発掘調査では、**たて穴遺物跡(当時の家)**や**屋外炉人がほたて穴(土坑)**など石を記されています。

【発掘された土器の種類】

- ・1)シシ形土製品
- ・人体もようのあるつぼ
- ・つぼと大型注口土器



縄文時代の土器



シシ形土製品

この他にも、**多くの動物形土製品**が発掘されました。縄文時代の動物形土製品の中でもすぐれたもので、その**写真的価値**はとて高くきうです。



④大石神社(奥宮)とおおいしじんじ(さこみや)

大石神社が山中で遠すぎるためかつて庚申様と呼ばれていた神社に御神体を安置し大石神社下宮としたそうです。大石神社の奥宮は明治15年に建てられました。庚申様と呼ばれていたことからわかるようにとても立派な庚申様。菅野二十三夜が菅野見象文化三年、天明の飢饉重食我死者供養塔などがあります。



③ 巖鬼山神社

巖鬼山神社では、**1000~1200年**生きている木が**2本**あって**大杉**とよばれており、とても**たか**い。ここは**巖鬼山神社の本殿**。元**権見音院**だ。たかもあってか説明によると**津軽半島**の**小仏堂**が神社に変わった**典型的な寺**のことであり**重要文化財**に指定されています。巖鬼山神社は何回も行事でほうしつされてきました。そして**今の本殿**が建てられました。これは**巖鬼山神社の始末**でおよく見ると世のびしながから笑っているようにも見えます。



④大石神社(奥宮)

大石神社(奥宮)には**巨石**がありその**巨石**は**岩木山**発祥口の**赤倉山**との境界石といわれています。そして**初巨石**が御神体です。1596年~1615年に**津軽為信**が十面観音をまつたのが始まりと言われています。まつられている神は**高皇産靈神**、**神皇産靈**です。大石神社の鳥居にいる上りりゅうは**黒い**をよける上りりゅうは**黒い**をかかえるという意味があります。江戸時代にいた**旅行家**、**菅江真澄**の**外浜有勝**に子宝などの**ご利益**があるといわれています。場所は**裾野小学校**から約**1km**は歩いて**岩木山**の中へかたりにあります。



⑤大森勝山遺跡(おおもりかつやまいせき)

大森勝山遺跡は**今から3200年~3000年前**の遺跡です。岩木山麓につくられたストーンサークルで、冬には**岩木山**の山頂に**太陽が沈む場所**につくられました。直径約**50メートル**でまわりに使われた**円盤状**土器が出土しました。かんじょう列石は国内では**縄文時代**の遺跡の中で**晩秋**唯一**大きな**などかわかっているものです。また、縄文時代のおまつりなどの**多り変わり**が**わが**大森貴重な遺跡です。この遺跡では**現代**の**建物**がほとんど**見え**ない空間の中で**岩木山**の**美しい**すかたを見ることもできます。

